

## 2025（令和7）年度事業報告

### I. 法人の使命と事業

#### I-1. 宇都宮まちづくり市民工房の使命

宇都宮市の市民活動活性化に関する事業、および行政、営利団体、市民活動団体がそれぞれの特性を活かして協働するための事業を行い、「市民の手による、市民のためのまちづくりの実現」に寄与することを目的とします。

#### I-2. 主な事業

市民工房の定款上の事業の種類は以下の通り。

- ①市民活動に関する情報・資料の収集および提供
- ②市民活動に関する相談
- ③市民活動団体間および企業または行政との交流連携の促進および支援
- ④市民活動に関する調査研究および政策提言
- ⑤コミュニティ活性化事業の支援
- ⑥市民活動に関する人材育成

### II. 2025（令和7）年度 宇都宮まちづくり市民工房 事業報告

2025年度通常総会で承認された2025年度事業は以下の通りである。下線は未実施。

II-1. コミュニティ 活性化事業の支援 定款⑤	1) 中山間地交流プロジェクト (1) 塩原里山整備事業 (2) 横川清水原の耕作放棄地の活用 ほか
II-2. 市民活動の人材 育成 定款⑥	1) 非営利活動団体（NPO）の組織基盤強化 (1) とちぎ地域女性活躍実践塾（とちぎ男女共同参画センター） (2) シルバー大学校「福祉学科自主研究」担当 2) NPO 組織の実務向上事業 (1) <u>IT 活用に関する相談および実践に向けての入門・基礎講座（未実施）</u> 3) NPO への伴走支援 (1) 地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取り組みモデル調査（内閣府） (2) 真如苑市民防災・減災活動公募助成 (3) 赤い羽根とちぎ「そなえる・ささえる」特別助成（栃木県共同募金会）

## Ⅱ - 1. コミュニティ活性化事業の支援 (定款⑤)

### Ⅱ - 1 - 1) 中山間地交流プロジェクト

#### (1) 塩原里山整備事業

2020年度から4年間続いた「農村ファン創出事業(栃木県委託事業)」を自主事業として引継ぎ実施している。

#### <事業の対象とねらい>

- ・対象：里山保全の必要性に関心のある市民・企業
- ・ねらい：①中山間地の現状を現場で把握し、整備事業に関わる意義を理解してもらう  
②現場で活動する団体への支援に結び付ける

#### <実施内容>

##### 1. 里山整備の活動

一般社団法人青空プロジェクト THE DAY の活動に参加して、古道やシークレットベースの整備を行った。4月から翌3月まで12回実施し、農村ファン延べ37名が参加した。

#### ▶シークレットベース整備の様子



#### ▶シカの被害

#### 古道整備の様子



▶ 上：雪山ツアー

▶ 右：家族体験会

## 2. 青空食堂

農村ファンの方々へのおもてなしをしたいと、地元の女性たちが始めた青空食堂も継続している。



### <今後の活動について>

6年目の活動となる今年度、毎回参加して下さる農村ファンも増えてきたことで、作業内容も充実してきた。全国的にクマの出没と人的被害が大きく報道されているが、クマに限らず野生動物と共存するために里山保全が重要であることを実感できる場となっている。活動継続に必要な交通費やボランティア保険、燃料費等への寄付も少しずつ増えており、今後もさらに広報周知しながら、支援も広げていきたい。

(2) 日光市三依交流プロジェクト 2007年12月にスタートして19年目

<事業の対象とねらい>

- ・対象：自然と共存した暮らしや農業に関心のある都市部住民および三依地区の住民
- ・ねらい：①農作業を通じた自然との関わり方、②地域における支え合いや近所付き合いの現場を学びながら、都市部の地域課題について考える機会を提供する。

<実施内容>

#### 1. 遊休地（清水原）の活用

電気柵完備の清水原農場を使わせていただいていたが、8月にトラクターのカギが盗難被害にあい、その後の農作業継続が不可能となってしまった。

<今後の活動について>

活動休止中。自治会長と意見交換して決める予定。

## II - 2. 市民活動の人材育成 (定款⑥)

### II - 2 - 1) 非営利活動団体(NPO)の組織基盤強化

#### (1) とちぎ地域女性活躍実践塾

とちぎ男女共同参画センター委託事業(1,500,400円)

<事業の対象とねらい>

- ・対象：栃木県内の地域において、女性が中心となって活動する非営利団体
- ・ねらい：伴走支援による団体の基盤強化と活動実施および助成金交付による財政支援

<実施したこと>

事業内容は、1.実践団体の募集・選考、2.全体研修会開催、3.実践事業の伴走支援、4.活動成果報告会開催、5.助成金交付、である。

#### 1. 実践団体の募集・選考

4月25日から5月17日の募集期間中に8団体から応募があった。審査委員4名による書類選考の結果、次の6団体を採択した。

##### ①子育てサークル Felice&Co. (日光市)

：親子の笑顔が広がる体験とコミュニティづくり

##### ②forest style (宇都宮市)

：「触れる保健室」あらゆる世代の健康に関する気軽な相談場所開催

##### ③Well-Being ふえむなす (那須塩原市)

：地域に住む女性の Well-Being を目指す

##### ④いちご fam (小山市)

：「育児力」と「わたし力」が育ついちご fam ママの学びとつながりひろば開催

##### ⑤NPO 法人 Flying Kiwi (小山市)

：ゼロからのものづくり、多世代・異文化で一緒に自然活動

##### ⑥NPO 法人とちぎ多胎ネット (小山市)

：多胎家庭支援のためのピアサポーターを知ってふたごみつご育児をもっと輝かせよう

## 2. 全体研修会開催 6月21日 13:30～16:00@パーティ 301 研修室



6 団体がこれからの活動内容を発表したのち、2 団体 1 組に分かれて、それぞれの事業について意見交換を行った。

## 3. 実践事業の伴走支援

12 月に各団体とオンラインで近況報告および意見交換、会計中間報告を行った。また宇都宮大学生が各団体の活動現場を訪問し、聞き取り調査を実施した。その内容を事例集として年度末に発行した。

## 4. 活動成果報告会

2月28日 13:30～15:30@パーティ 302 研修室

実践 6 団体 16 名（うち子ども 3 名）、一般県民 6 名参加。各団体の活動報告ののち、会場との意見交換を行った。



## 5. 助成金交付

6 団体に合計 589,300 円の助成金を交付した。

### <事業の成果>

- ▶ 助成団体として：今回の助成を軸にして、①今まで温めていた構想を実現することができた（講師を招いての各種講座やワークショップの実施など）、②事業を行うことで、アプローチしたくても難しかった対象者とのつながりや、今後の活動に必要な人材の育成（サポーター養成など）ができた、と考える。
- ▶ 市民工房として：単に女性の視点ということではなく、従来市民工房が関りの薄かった分野（Well-Being、多胎など）の意味とその重要性を学ぶことができた。

<今後の活動について>

2026 年度「男女共同参画地域活動支援研修事業」として同様の内容でのプロポーザルがあり、本法人の提案が採択されたことより、来年度も同様の事業として実施する。

(2) シルバー大学校中央校「福祉学科自主研究」担当

福祉分野で活動する県内の事例を調査・インタビューし、まとめる講座の講師を担当した（水曜コース3か所、木曜コース5か所）。取り上げられたテーマは、こども食堂やフードバンク、民生委員・児童委員活動、自治会活動、高齢者施設運営、などであった。各コース7月3回、8月1回、9月1回の講座、9月10日には中央校全体での発表会があり、各コースから1事例が発表を行った。

Ⅱ - 2 - 2) NPO 組織の実務向上事業 未実施

Ⅱ - 2 - 3) NPO への伴走支援

(1) 地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取り組みモデル事業

内閣府・NTT データ経営研究所委託事業（1,999,800 円）

「女性たちの地域づくり活動による栃木の孤独・孤立対策」をテーマに応募、昨年度に引き続き採択された。

<事業の対象とねらい>

- ・ねらい：日常生活における孤独・孤立の予防や早期対策につながる活動への支援
- ・対 象：市民工房は以下の内容の事業を行った。

①女性リーダーへのインタビュー

②連携実績のある団体を中心に協働プロジェクト実施

<実施したこと>

以下の3団体と連携して事業を行った。

①&nurse

昨年度の「とちぎ地域女性活躍実践塾」団体。身近な場所で悩みを語れる場、人とつながれる場として「まちの保健室」を定期的に開催している。そのほか、各所でイベントを実施し、活動の周知を図っている。

▶8月29日代表へのインタビュー実施、&nurse 主催企画「gift2025」取材

▶10月22日、11月26日、12月24日、1月28日まちの保健室取材



## ②たまり場 Brain

昨年度の「とちぎ地域女性活躍実践塾」団体。すべての子どもの育ちをみんなで支える活動を行っており、今年度こどもの育ちを支えるたまりばネットワーク「ばネット」を立ち上げた。

- ▶ 9月9日代表者インタビュー
- ▶ 10月25日たまりばトーク取材
- ▶ 11月29日おやままるっとつながるフェス取材
- ▶ 12月24日活動聞き取りと相談対応



## ③宇都宮大学学生チーム Cheers.

能登半島地震からの復興支援をテーマに、女性の地域参加につながる活動を現地の方々と一緒にできればとの思いで活動している。

- ▶ 8月16日キャンドルナイト実施
- ▶ 10月28日代表者インタビュー
- ▶ 11月20日連携先の金沢大学と打ち合わせ
- ▶ 12月12-14日「能登ファンを増やそう」プロジェクトのモニターツアーに参加



## ●その他

- ▶ 10月20日中間報告書提出
- ▶ 10月31日オンライン中間報告会出席
- ▶ 9月25日、11月10日、12月18日オンラインサロン出席
- ▶ 12月19日オンライン研修会出席
- ▶ 1月30日事例集作成・提出
- ▶ 3月13日オンライン最終報告会出席

#### <事業の成果>

- ▶ 助成団体として：従来の活動の継続や新しいネットワークづくりなどに助成を活かして、孤独・孤立解消に寄与してきたと考える。
- ▶ 市民工房として：昨年度の実践塾で得たつながりを、単年度で終わらせることなく関わり続けることができたのは、一つの成果であると考えている。

#### (2) 真如苑市民防災・減災活動公募助成 真如苑助成事業 (280,000 円)

「防災アクティビティをととした大学生の人材育成事業」をテーマに応募し、採択された。「宇都宮大学学生チーム Cheers.」と連携し、8月16日に宮ライトヒル(JR 宇都宮駅東口)にて復興応援イベント「キャンドルナイト 能登と、繋がる。」を開催した。あわせて、これまでの能登半島地震の支援活動の様子について、9月6-7日に朱鷺メッセ(新潟県)で行われた「ぼうさいこくたい 2025」に出展して報告した。

#### (3) 赤い羽根とちぎ「そなえる・ささえる」特別助成

栃木県共同募金会助成事業 (120,000 円・予定)

「防災アクティビティをととした大学生の人材育成事業」をテーマに応募し、採択された。宇都宮大学地域デザインセンターの学生コーディネーショングループ「CRD ユース」と連携し、8月8-9日に同大陽東キャンパスにて防災キャンプ(教室を避難所に見立てた宿泊体験)を開催した。

### II - 3. その他 市民工房推薦による主な外部委員

- (1) 宇都宮市社会福祉協議会「地域福祉事業運営委員会」委員(継続)
- (2) 小山市市民活動センター運営調整会議(継続)
- (3) とちぎコープ生活協同組合理事(継続)
- (4) 宇都宮市ブランド推進協議会(継続)
- (5) 宇都宮市行政経営懇談会(継続)
- (6) 栃木県行政改革推進委員会(継続)
- (7) 宇都宮市男女共同参画審議会(継続)

### III. 市民工房の組織運営

#### III - 1. 会員数

2026(令和8)年3月31日現在 個人正会員 29名、団体正会員 3団体  
個人賛助会員 9名、団体賛助会員 6団体

#### III - 2. 認定 NPO 法人

第3期 2023年10月25日から2028年10月24日まで

### Ⅲ - 3. 理事会の開催

#### (1) 2025年度第1回(通算第98回)理事会

- ・日 時：4月22日(火) 18:00~19:30
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム
- ・議 題：2025年度通常総会に上程する議案について承認を求める件
- ・出席者：9名(うち表決1名)

#### (2) 2025年度第2回(第99回)理事会

- ・日 時：10月29日(水) 18:00~19:00
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム
- ・議 題：1) 2025年度上半期事業報告及び下半期事業進捗  
2) 2025年度予算執行状況の報告
- ・出席者：9名(うち表決1名)

#### (3) 2025年度第3回(第100回)理事会

- ・日 時：2026年3月23日(月) 18:00~18:45
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター+Web会議システム
- ・議 題：1) 2026年度通常総会に上程する議案について承認を求める件
- ・出席者：

### Ⅲ - 4. 総会の開催

#### 1) 2025年度通常総会(第21回)の開催

- ・日 時：2025年5月27日(火) 18:00~18:55
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター2F+Web会議システム
- ・議 題：2024(令和6)年度事業報告および決算報告/監査報告/定款変更(案)について/2025(令和7)年度事業計画(案)および予算(案)の審議ならびに承認について/役員改選(案)について/登記申請書類の字句の修正の委任について
- ・出席者：個人正会員32名・団体正会員3団体中27名・団体(うち委任13名・団体)

#### 2) 臨時総会の開催

- ・日 時：2025年6月11日(水) 16:00~16:20
- ・場 所：宇都宮市まちづくりセンター1F+Web会議システム
- ・議 題：2026(令和8)年度事業計画(案)および予算(案)の審議ならびに承認について
- ・出席者：個人正会員32名・団体正会員3団体中30名・団体(うち委任23名・団体)

#### IV. まとめ

2025（令和7）年度は、宇都宮市まちづくりセンターの管理運営を終了して初めての事業年度となった。指定管理終了後の取り組みは、（1）とちぎ地域女性活躍実践塾、（2）地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査、（3）中山間地支援、を中心に実施した。

- （1）昨年度に引き続き、栃木県男女共同参画センター委託事業「とちぎ地域女性活躍実践塾」を実施した。女性を中心に企画立案・実施を行う団体への伴走支援で、今年度も6団体への助成を行った。活動を始めたばかり、助成受託は初めて、という団体がほとんどで、会計上の課題を中心に相談にのりながら約1年間ともに歩んできた。市民工房にとっても今までにない視点からの取り組みを知ることができて、貴重な学びの場となっている。6団体にとってこの助成をステップとして、今後の活動の幅が広がることを期待している。
- （2）同じく昨年度に引き続きの事業となった。今回のテーマは「女性たちの地域づくり活動による栃木の孤独・孤立対策」で、2025年度の女性活躍実践塾でさらに支援があると活動が発展すると判断した2団体と、学生団体を含めた計3団体への伴走支援を行った。一つの助成事業をきっかけに、次へ進もうと考える団体にとって、単に資金面だけでなく、気軽に相談できる場所があることが大切だと、改めて強く感じた。多くの登録団体を抱える中間支援センターの役割とは違う「伴走支援」の意味を実感する良い機会になっている。
- （3）一社）青空プロジェクト THE DAY の活動支援を農村ファンと共に行っている。活動も6年目が終わり、THE DAY や地域の皆さんとの信頼関係もできてきた。また、市民工房はもとより農村ファンも現地の状況をよく把握していることから、活動内容も充実したものになっている。事業継続に必要な資金確保の課題は残っているが、安全面に十分配慮した上で、来年度もコアメンバーを中心に活動を続けていく予定である。

法人設立から20年が過ぎた今、一つ一つの事業を大切に行いながら、4年後を見据えた組織のあり方を議論していきたい。